

平成30年度 「言語聴覚の日」イベント報告



福井県

平成30年10月21日（日）、鯖江市の嚮陽会館にて、「さばえ 食と健康・福祉フェア」が開催されました。福井県言語聴覚士会は、口腔機能をテーマに、ポスター掲示、むせを理解する体験コーナー、パタカラ体操を理解するクイズコーナー、ガムトレーニングコーナー、賛助企業の商品紹介コーナーを出展しました。

今回最も工夫した点は、呼び込みです。テーマに合わせて「食事会 断る理由は むせるから」「食べたいな 固くて食べれぬ 五月ヶ瀬」「歳とって 口まで潤い なくなった」の3つの川柳を作り掲示することで、来場者の興味をくすぐることとしました。

当日は142名の方が、私たちのブースに立ち寄ってくださり、多くの方が興味深く説明を聞いてくださり、私たちも楽しく対応することができました。なかでもパタカラ体操については、ご存じの方が多く、嚥下体操が地域に浸透してきているように感じました。

今年度は、市町村が主催する健康フェアに出展することで、関心度の高い来場者にPRできました。健康フェアは、来場者の年齢層が高く、若年層が少ない傾向にあるため、幅広い年齢層にPRできる活動の在り方を検討したいと思います。

福井県言語聴覚士会
ST展実行委員 河野 友彦

